

研究報告
(研究プロジェクト3)

オリンピック教育

依田 充 代 (スポーツ社会学研究室)

はじめに

本プロジェクトはこれまでのオリンピック教育を分析し、今後のオリンピック教育の方策ならびに提案を構築することを目的に設定されている。

本年度は以下の三つの調査研究を中心に進めた。

1. オリンピック教育に関する研究調査

依田充代, 後藤 彰

目的：オリンピックスポーツ文化研究所, 研究プロジェクト「オリンピック教育」について、札幌オリンピックでどのような教育が行われたのかについて、調査・聞き取りを行った。

計画：2017年8月3日(木)～8月5日(土)
札幌オリンピックミュージアム 聞き取り調査
札幌市中央図書館 新聞資料収集

2. 体育学専攻大学生によるオリンピック・パラリンピックへの期待と理解度分析

依田充代, 清宮孝文

目的：本学学生のオリンピック・パラリンピックに対する大学への期待及びオリンピックの知識調査結果から、本学のオリンピック教育の現状と課題を明らかにすることを目的とした。

計画：体育学専攻大学生の①オリンピック・パ

ラリンピックに対する大学への期待
(2017年2月27日)と②オリンピック
知識量(2017年12月18日)について
調査を実施した。

3. アンチ・ドーピング教育に関する研究調査

依田充代

目的：オリンピックスポーツ文化研究所, 研究プロジェクト「アンチ・ドーピング教育」に対して、イタリア・アンチ・ドーピング機構およびUisp Nazionale(みんなのスポーツ協会)への聞き取り調査を行う。

<調査項目>

1. アンチ・ドーピング教育の歴史
2. アンチ・ドーピング教育の現状について
3. アンチ・ドーピングイベントの成果と課題について
4. アンチ・ドーピングに関する予算について
5. 今後の活動について
6. その他

まとめ

昨年度の本プロジェクトは、オリンピック教育の中でも「中学体育理論領域におけるオリンピック教育について一探索的調査を基にした現状把握と課題提起」と「オリンピック・パラリンピッ

ク教育の現状と課題」とした学校現場と教育委員会のオリンピック教育に焦点を絞って研究を行ってきたが、今年度はより幅広く札幌オリンピックの際に行われた教育とアンチ・ドーピング教育を追加した。また、本学学生のオリンピック教育の

現状と課題について論文の投稿が行われ、今後の本学学生に対するオリンピック教育についても検討していく必要があると思われる。

(受理日：2018年1月31日)